研究デザインと論文化

九州大学大学院医学研究院保健学部門 有村秀孝

1

研究を完了するための重要な要素

新規性または進歩性

研究デザイン(戦略)

研究技術(戦術)

熱いハート

論文

研究デザイン(戦略)と 研究技術(戦術)

研究デザイン(戦略) 目的を達成するための全体的な計画

研究技術(戦術) 研究を実行するために必要な技術

例:実験装置の取り扱い,データ整理技術, プログラミング,ハードウエアとソフトウエア に関する知識と技術

3

研究デザイン作成のために、目的を明確に!-悪い例-

どうしてその問題に取り組むのか? アルツハイマー病のCADを例に挙げます。 例:アルツハイマー病のCADがないからです。

問題解決のために、何をやるのか?

例:アルツハイマー病のCADの開発

意義を明確に!-問題の理解-

悪い例: ①ここに穴を掘ってください. ②なぜならここに穴がないからです.

良い例:①ここに穴を掘ってください.

- ②なぜなら薩摩の名家である有村家の埋蔵金がここに 埋まっているからです.
- ③しかし穴が無いので取り出すことができません.
- ④そこで、ここに穴を掘る必要があります.

「これから論文を書く若者のために」酒井聡樹より引用

目的を明確に!一問題の理解一

どうしてその問題に取り組むのか?

①高齢化社会になり、アルツハイマー病の患者が増加している.

アルツハイマー病の診断は複雑で、健常者の中から 正確かつ迅速にアルツハイマー患者を診断することは難しい.

②そこで、アルツハイマー病の医師の診断を支援するツールが必要.

問題解決のために、何をやるのか?

アルツハイマーの診断システムの開発

研究デザインの必要事項 - 科研費の申請書 -

- ◆学術的背景
- ◆本研究の目的 (仮説の設定, 何をどこまで明らかにするのか)
 - ◆学術的な特色・独創的な点 (世界的に例が無い!)
 - ◆予想される結果と意義 (学術的な意義、社会的な意義など)
 - ◆手法の概要
- ◆大まかなタイムテーブル(年度ごとの計画)

7

研究デザインの必要事項 ー倫理委員会の申請書ー

- ◆背景,目的
- ◆ 対象(対象疾患,選択基準,除外基準)
- ◆ 研究方法
- ◆評価項目(統計処理)
- ◆ 倫理的事項
- ◆ 利害相反(conflict of interest)
- **.**
- **.**

研究デザインの効果(1)

- ◆ 背景、意義を文章にすることにより、研究目的を 明確にできる。
- ◆ 仮説(基本的なアイディア)を立てることによって、 研究計画を立て易い。

仮説の例:脳の委縮の特徴量を計測し、パターン認識技術を 使うと、アルツハイマー病の程度を推定できる。

10

しかし、

- ◆デザイン(仮説)通りに行った研究は 実は面白くない!でも、ソツがないから論文になり易い。
- ◆一方,デザイン(仮説)通りに行かないと,,, だんぜん面白い. でも,他の研究者を説得するのは難しい.

でも、他の研究者を説得するのは難しい、 論文にするのは大変かもしれない。

それでも研究デザインは必要!

- ◆ 大まかなタイムテーブルを立てることで、計画通りに進める努力をする。
- ◆背景,目的,手法の概要を書いているので, 後は方法、結果、考察を書けば良い。

12

研究のタイムテーブルの例

- 1. 目的の設定・研究デザインの設計
- 2. 文献調査
- 3. 予備実験
- 4. 仮説(基本的なアイディア)の設定 [ここまでで1年程度]
- 5. 本格的な研究の実行
- 6. 結果のまとめと分析
- 7. 考察(仮説の検証, 仮説が理論になるか)
- 8. 学会発表
- 9. 論文の執筆 [この段階になるのに2から3年程度]

執筆の流れ

- 1. 執筆期限を決める. (1ヵ月程度)
- 2. 論文のおおまかな構成を決める.
- 3. 関連文献を徹底的に集め、読む.
- 4. 書きやすいところから書く. (方法, 結果からが書きやすい)
- 5. 一気に全部書いてみる.
- 6. 論文の価値=得られる情報ー読む労力
- 7. 書き上げるまでは最優先順位で、(他の研究を完全ストップ)
- 8. 二人以上の研究者に見てもらう、

14

まとめ

- ◆ 研究デザインを文章にし、問題を理解、 後は目的に向かって研究実行、
- ◆ 研究の実行後は、研究デザインを基に、詳しい研究方法、結果と考察を加えて、論文を書く。
- ◆ したがって、研究デザインが適切な場合、論文化は 決して難しくない!

(注意:このようなことができるようになったのは最近です。。。)

なぜ論文を書くのか?

- ◆研究のゴールは論文だからです.
- ◆論文ができなければ,研究は完了しません.